

道内主要都市から
足寄町までの
距離と時間(自動車)

- 札幌から…………… 245km(約3時間20分)
 - 函館から…………… 510km(約7時間30分)
 - 旭川から…………… 165km(約3時間20分)
 - 釧路から…………… 90km(約1時間30分)
 - 北見から…………… 104km(約1時間50分)
 - 帯広から…………… 65km(約1時間5分)
- ※上記の距離・時間はあくまでも目安です

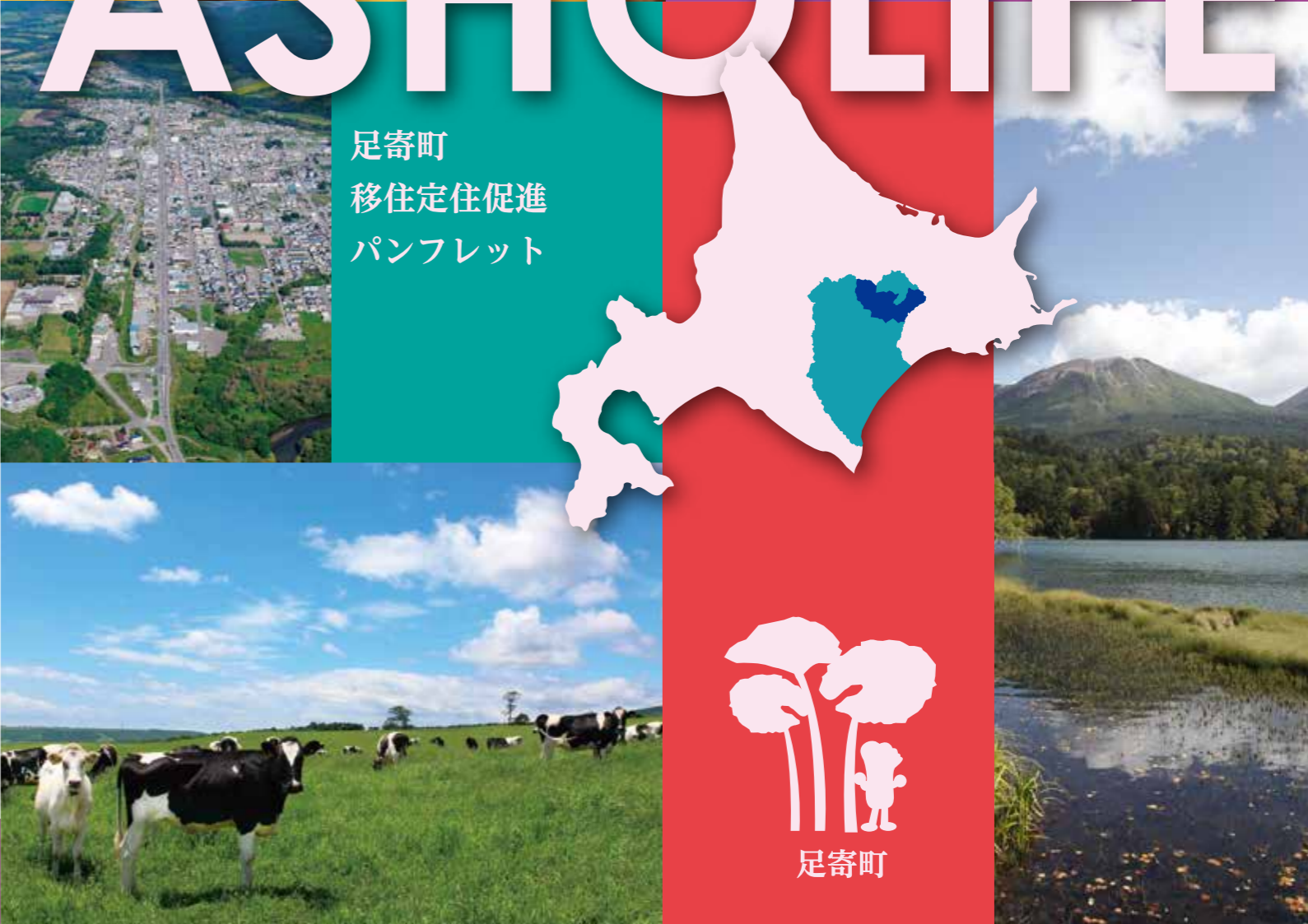
子育て
するなら
足寄町



あしよるで暮らす。
あしよるで生きる。

ASHOROLIFE

足寄町
移住定住促進
パンフレット



足寄町役場



足寄町国民健康保険病院



高齢者等複合施設 むすびれっじ



あしよる子どもセンター



道の駅あしよる銀河ホール 21



足寄高校



足寄中学校



学校給食センター



足寄動物化石博物館

足寄町役場 総務課企画財政室

〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1 TEL:0156-25-2141 FAX:0156-25-2488

<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>



足寄町

あしよろで暮らす。
あしよろで生きる。

緑の大地にあふれる幸せ 安全で 安心なまち あしよろ

東京都の約3分の2、町として日本一の面積を有する足寄町。四季折々の彩りを湖面に映し出し、訪れる多くの人々を魅了してやまない「オンネトー」を始めとした観光資源。さらに、広大で豊かな自然を活かした農林業が足寄町の主な基幹産業です。その豊かな大地に生活する全ての町民が、いつまでも健やかに、生きがいを持って、安心・安全に暮らせることが、足寄町の目指すまちづくりの基本です。



ASHOLIFE



足寄町に移住した「人」 黒田昌孝さん



黒田さんご家族

足寄町に新天地を求めて

黒田昌孝さんは茨城県瀧ヶ崎市の出身。平成19年に地元の大型酪農法人に入社され肥育と乳牛のお仕事を始めました。「いずれは地元での就農を考えていましたが、東日本大震災の影響などもあり、新たな就農先として県外へ移住することも視野に入れ始めました。」と語ります。

放牧酪農を知って

そんな折、足寄町の放牧酪農の取組みを知ることとなった妻の安子さんが酪農学園大学の教授に相談、平成26年2月に足寄町の牧場での研修を勧められ、放牧酪農に関する知識と技術を学びはじめました。

牧場を継承し新規就農を実現

平成26年4月に足寄町新規就農志向者認定、また、町の営農実習奨励金、国の青年就農給付金(準備型)を1年9ヶ月受給したのち、足寄町の既存の牧場を継承することが正式に決定。1年2カ月間の継承期間を経て平成28年1月にリレー方式による新規就農が成立しました。

家族で経営する牧場を目指して

黒田さんは妻の安子さんと2人のお子さんの4人家族。「放牧酪農による家族経営を基本に考えています。広大な資源を最大限利用ながら、牛をのびのびと飼養するとともに、草地の面積等に応じた適正規模での経営を展開していくことが目標です」と足寄町での暮らしをお話いただきました。



成長すると高さ2~3メートルになり、北海道遺産に指定されている足寄町の特産品「蝶湾(らわん)ブキ」と、町のマスコットキャラクターの「アユミちゃん」です。

子育てするなら足寄町

結婚・出産・子育て 足寄町独自の子育て支援

足寄町には、そこに暮らす人たちが安心して結婚・出産、そして子育てができるための様々なサポート体制を用意しています。

子育て応援出産祝い金

出産のお祝いとして、第1子及び第2子には10万円、第3子以上には20万円を贈呈します。

保育料完全無償化

入所者(学童保育所含む)の保育利用料を全て無償とします。

家庭での保育料無償化

家庭的保育(保育ママ制度:保育士等による自宅での保育)の保育料を無償とします。

学校給食完全無償化

町内の小中学校の児童生徒、足寄高校の生徒へ給食を無償提供します。

子どもの医療費支援

未就学児の医療費全額無料(所得制限あり)、住民税非課税世帯の小中学生は医療費全額無料、課税世帯は医療費自己負担3割を1割に低減(所得制限あり)します。

足寄高校通学支援

公共交通機関の定期代を全額補助(自家用車の場合は月額2千円)、下宿代月額4万円以内、入学一時金7万円、見学旅行一時金3万円を補助。希望者全員を海外(カナダ)研修に派遣します。夏・冬期講習費用、各種検定・模擬試験費用、e-Learning費用、介護初任者研修などの費用を全額負担します。

足寄町学習塾

足寄高校生対象の公設民営塾を開設しています。受講料は無料です。

足寄高校生用下宿/足寄町多目的交流施設

遠隔地から足寄高校へ入学を希望する生徒のために、下宿を完備しています。



仕事 足寄町は「がんばる」人を応援します

日々の生活の基盤となる仕事面のサポートも欠かせない要素です。足寄町は就農に関する様々な制度をはじめ「がんばる」人たちを応援します。

産業振興事業補助金

これまでに事業活動を行っていない者が、事業を開始する場合又は町外から移転して町内で事業を開始する場合に、300万円を限度に経費の2分の1以内を助成します。

新規就農志向者営農実習奨励金

実践的な営農実習を通じて就農に必要な生産技術や経営方法等の習得に対する奨励金として、月額15万円(2年以内)を交付します。

医師等就学資金貸付制度

将来医師又は看護師として足寄町に勤務志望者に対し、医師は月額20万円以内、看護師は月額10万円以内を貸付し、貸付年数(看護師は貸付年数の1.5倍)の期間、在職した場合は償還金を免除します。

新規就農者経営開始奨励金

農業経営開始に必要な出資金等、その他営農及び生活等、農業経営の維持発展に対する奨励金として年額200万円を上限(経営開始から3年間)に交付します。

住まい

安らげる空間をお手伝いします

毎日の生活のなか、心安らかに寛げる空間は大切なもの。その基盤となる住まいづくりをサポートします。

住環境・店舗等整備補助金

町内の建設業者により施工される住宅及び店舗・事務所等の新築、増改築、中古住宅の購入に上限150万円を交付します。

移住相談ワンストップ窓口

足寄町移住サポートセンター

移住を希望される方の住まいと仕事探しから、移住後のフォローアップまでを行います。

0156-28-0280 平日9時~17時
www.ashoro-vidid.org
運営者 一般社団法人びびっどコラボレーション